

自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目のⅡやⅢ等)から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したのものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

○記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点](アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	グループホーム谷山中央
(ユニット名)	桜島
所在地 (県・市町村名)	鹿児島市谷山中央2丁目609-1
記入者名 (管理者)	小川 みち子
記入日	平成20年 11月25日

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

↑ 取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>地域の中でその人 がその人らしく暮らせるようにとスタッフで話し合い作り上げました。</p>	<p>○</p> <p>理念①優しさと真心であなたらしさを大切にしたいあなたのできる事を 共に探りあなたの健康を見守り幸せと笑顔のたえない暮らしの環境づくりをめざします②ご家族に安心、満足を提供し地域との交流を深める介護を目指します。理念に沿って取り組んでいます。</p>
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>毎朝ミーティングの後理念の唱和を行っています。時々利用者にも参加して頂き一緒に唱和することがあります。</p>	<p>○</p> <p>一緒に唱和することで管理者、職員、入居者とともに理念の共有取り組みに努力している。</p>
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる</p>	<p>家族会や行事に参加して頂いた方々に地域で暮らせることの大切さを理解していただけるよう取り組んでいます。</p>	<p>○</p> <p>敬老会への参加やボランティアさんかをいただいてグループホームを理解していただいているとともに地域の行事参加時町内会の方より、入居者の状況に合わせた席を用意していただき地域の中学生に車椅子の介助をお願いしていただいたりしています。</p>
2. 地域との支えあい			
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>グループホームの敷地内が近隣者の買物の通り道に解放してあり外に設置してあるベンチで気軽に休憩していただいている。外気浴、外でのレクリエーション時気軽に声をかけていただいたり、利用者からも声をかけたりしている。たくさん野菜をいただいたが食べきれないので食べてくださいと持ってきて下さることもある。</p>	
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>グループホームの敷地内が近隣者の買物の通り道に解放してあり外に設置してあるベンチで気軽に休憩していただいたり相互交流ができるようにしている。町内会に加入、校区運動会には町内会の一員として声をかけていただき参加しています。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	○	<p>高齢者ではないが、敷地内が子供たちの通学路になっている子供の緊急駆け込みとして活用していただけたらと思う。</p>
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>		
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>		
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	○	<p>市町村との関わりがほとんどありません。</p> <p>毎年問題に上がるがどのように取り組んで行ったらよいか思案しています。市町村との関わりは生活保護者のみです。</p>
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	○	<p>必要な方には制度の説明をし、活用できるように支援している。成人後見人制度手続きに必要な検査受診等スタッフが関わりを持つ機会があり話し合い学ぶ機会がありました。</p> <p>2階に過去制度を利用された方がいました。</p>
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	○	<p>利用者への言葉や対応が本当に正しかったのか各個人が常に自分を振り返ると同時に他スタッフの対応についても意見の交換をしながら虐待のない環境づくりをしています。</p> <p>管理者は職員のストレスが虐待の引き金になることを念頭に置き利用者はもちろんスタッフへの声かけ気配りに勤めています。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約を結ぶ前、契約後も利用者家族の不安、疑問について理解できる言葉で説明し理解納得をいただいています。解約時も利用者家族が戸惑うことのないように配慮しています。</p>	
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>常に声かけしその人らしさを尊重し利用者の意見を聞き何気ない言葉の中に隠された不満苦情のあることを認識しながら日々の暮らしに反映できるように取り組んでいます。</p>	
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月発行する施設便りや利用者の日々の暮らしぶりや担当者からのコメントを添え低増す。家族の面会、受診、家族会において状態報告を行っています。必要時は電話連絡します。</p>	
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ご家族アンケートを無記名で実地し言葉にできない意見苦情が表せるように取り組んでいます。</p>	<p>○ 家族アンケートの回収率が低かった今後全家族のアンケートがいただけるように工夫をする。</p>
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>運営に関する意見を管理者会議にて提案し反映させています。</p>	
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>受診、外出を考慮した勤務体制を確保しています。1、2階を含めフリーで動ける人員の確保ができるようにしています。</p>	
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>働きやすい雰囲気、環境づくりに勤め職員一丸となって取り組み離職者を最小限に抑えていると思います。</p>	<p>○ 離職者2名。産休、育児休暇の後現場復帰2名。新採用1名。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修のために勤務の配慮をしています。ミーティングを通じての勉強会、外部より指導者を招いての講習会等実施しています。</p>	<p>○</p> <p>働きながらスキルアップできるよう、地域での勉強会に積極的に参加できる機会を増やす。</p>
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>谷山地区グループホーム連絡協議会があり同業者との交流がはかれる。</p>	<p>○</p> <p>地区グループホーム連絡協議会を通じてネットワーク作りや勉強会に参加しサービス向上に努めるように取り組んでいく。</p>
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>親睦会を設けストレスの解消ができるようにしている。</p>	<p>○</p> <p>職員の希望休日を可能な限り確保している。</p>
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>各自が向上心を持ち働けるように働きやすい勤務体制作りがしてある。</p>	<p>○</p> <p>非常勤勤務の労働条件の見直しに着手している。</p>
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>利用に至るまでに面接に行ったり、ホームの見学にきていただき本人から話を聞く機会をもっている。</p>	<p>○</p> <p>入居前に面接することで、生活の様子、利用者が求めていることを確認できている。</p>
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>相談から入居にいたるまで面接、ホーム見学していただきながら家族の思いを相談でき、受け止める努力をしています。</p>	<p>○</p> <p>入居までの間何回でも相談していただけるようにすることで家族の思い利用する方の思いを共有し、入居後の支援に役立てています。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人や家族からできるだけ細かい情報を収集しその時必要なサービスの優先順位を見極め他のサービスも含めた対応をしています。	○	特別養護老人ホーム、老人介護保健施設の利用の方向性について説明することがあります。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前に日帰り体験等もやっています。利用する前に雰囲気を知っていただいています。	○	今後も見学、食事体験等参加していただけるように働きかけていく。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員と利用者が相互関係が持てるように学んだり支えあえる信頼関係を築いています。		
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族と情報交、共有することで家族と一緒に本人を支えていくことを理解していただいています。	○	家族と関わる機会を増やし信頼関係を深めることができるよう取り組みを続けていく。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	面会時や、ホーム便り、電話を使い、家族が本人の状態を知ることができまた本人と家族が築き上げてきた関係を大切に途切れることのないように支援しています。	○	ホーム内だけでなく、一緒に外出したりできるように支援している。今後も支援続けていく。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族の協力やスタッフと一緒に自宅帰省をして馴染みの人との関係が途切れることのないように支援しています。	○	利用者が、要望を気軽に表現でき、馴染みの人、馴染みの場所に行けるよう今後も努力を続ける。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者同士の人間関係を把握した上で、座席の場所、役割を御願いし、孤立することがないようにしています。	○	毎日が同じ関係にないことをスタッフは念頭に置き、その時、その場所で臨機応変対応していく。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	利用が終了した後も遊びに来ていただいたり、転居先の訪問をしています。	○	退所されても、ご家族の相談できるホーム、スタッフである様に日頃から人間関係を大切にしてい。ホームの行事に参加できるように環境を整える。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの思いや希望が表現でき、受容ができるように努めている。困難な場合い少しでも希望に近づける努力をしています。	○	障害を個性と捉え普通に暮らせることをスタッフ一同が目標に、どうしたらクリアーできるか話し合いを持っています。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	情報提供書、本人、家族から話を聞き、情報書を独自で作成している。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	日々の申し送り、ミーティングで一人ひとりの現状を把握しています。	○	ミーティングの回数を増やし細かい状況の変化をスタッフ全員が共有する。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	家族、担当者を交えて必要時主治医の意見を求め介護計画を作成しています。		
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	状況の変化が著しい時、スタッフで話し合い本人家族の意向を聞き新たに介護計画を立てるようにしています。	○	変化のあったときできるだけ早く対応できるようにしていく。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	記録や申し送りだけでなく情報を共有するために独自に申し送りノートを作成し気づき等を書くようにしています。	○	日々の記録で対応策が検討されているが介護計画に反映されていない場合があり今後の取り組みを充実していく。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ホームの立地条件を生かし、散歩、買物、外食等を暮らしの中に取り入れて支援しています。受診 外出等柔軟に対応しています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域のボランティア、警察、消防等の協力を頂きながら支援しています。中学生の職場体験、高校生の実習の受け入れもしています。		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	本人家族の意向を踏まえ必要時他機関との話し合いを持ち対応しています。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	必要性については理解しているが現在のところ活用がない。	○	オムツ申請について相談したのみで運営会議とう参加がなく今後参加いただけるように関わりを持っていく。
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、家族の意向を大切に、これまで築いてきたかかりつけ医を利用できるようにしています。主治医との関係を大切にしながら事業所との関係を築いています。必要な時は専門医の受診ができるように主治医に相談できています。	○	※受診時の待ち時間が長くなることもあり今後の課題として医療機関と相談の必要がある。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	認知症専門医の受診ができテイマス。スタッフ、家族が相談できる関係にあります。		
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	管理者が看護師の資格を有している。また準看護師も配してあり相談しながら健康管理をしています。	○	看護師に24時間連絡できる体制にあります。
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院時の面会を心がけ入院中、退院後利用者が戸惑うことのないようにしています。早期退院ができるように主治医、看護婦ソーシャルワーカー、家族と情報を交換しています。		
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化、終末期のたいおうについて家族会、個別に話をしています。ホームでターミナルケアを希望されている方もおられ主治医とも繰り返し話をしている。スタッフ全員がターミナルケアの必要性について理解しています。	○	複数のご家族がホームでのターミナルケアを希望されているが主治医と話し合っているが良い返事をもらえていないケースもある今後も家族も交え話し合いを続けていく。
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	入所直後より家族と話し合いを持ち、入所と同時にターミナルケアの準備が始まっていると捕まえ、利用者が自分らしく、安らぎ、安全、満足のある暮らしに取り組んでいます。	○	ターミナルケア時、家族の役割の大切さ重要性についても話しています。今後も本人、家族が戸惑うことのないように情報の共有化を図りながら検討会を個別にしていく。
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	住み替え時本人が戸惑うことのないように、家族転居先のスタッフとの情報交換をしています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりの自尊心を大切に言葉かけ、対応に注意しながら支援しています。記録物等についても取り扱いに留意しています。	
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援している	本人の自己決定が表現できるように、その人の理解できる表言を使い働きかけています。	
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切にその人らしく1日がすごせる環境造りをしています。	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	定期的に訪問美容を利用しています。行きつけの美容院を利用しています。	
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一緒に献立を考えたり、買物、調理参加、盛り付け、配膳、片づけ食器洗い等一人ひとりの能力に合わせて参加していただいています。同じテーブルで同食事を食べながら食することの楽しさを職員と一緒に味わっています。	
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	主治医の制限がない限り本人の嗜好を大切に支援しています。お酒タバコの制限もありません。	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	一人ひとりの排泄パターンの情報を共有し、トイレで気持ちよく排泄できるようにしています。排泄意のない方でも時間誘導をトイレで排泄できる支援をしています。	○	排泄意のない方でも一人ひとりのサインを見落とさないように今後もトイレで排泄できる支援をつづける。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	曜日[月、水、金]の指定はしている。本人の希望があれば臨機応変の対応はできる。入浴の時間は一人ひとりゆっくり入っていただいています。		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	一人ひとりの状況ベースに合わせて休息していただいています。夜間も一人ひとりのペースに合わせて休んでいただいています。気持ちよく眠れるように、布団干ししたり空調調節等行っています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりのできる事、したいこと、したいが出来ないことを把握した上で役割分担していただいている。一人でできなくてもスタッフが協力することでクリアすることもあり色々な場面で気晴らし、楽しみができるように支援しています。		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金を持つことの大切さをスタッフは理解している。一人ひとりの能力に応じ金銭管理をしていただいています。	○	自分で管理できない方でも、買物に同行し支援しているがその都度ごとに自分で支払いの出来る支援の場面を増やしていく。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	事業所の中だけで過ごすことのないように、天気の良い日は散歩、外気欲をしたり、食材の買出しに出かけるようにしています。		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	希望があれば普段行けない場所へいけるように、ご家族への支援協力を御願いしたり、スタッフが対応できるように勤務調整したりして取り組んでいます。過去にはご家族と一緒に名古屋帰省をした方もおられます。	○	自分ではっきりと意思表示できない方、身体的に外出が制限される方の支援にも取り組んでいます。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話の子機を利用して支援しています。携帯電話を利用されている方もいます。手紙のやり取りの支援もしています。	○	文字のやり取りすることで楽しみが増える機会づくりにもう少し取り組んでみたい。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会の制限時間等ありません。いつでも気軽に訪問していただけるように取り組んでいます。面会時プライバシーにも配慮しています。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束委員会を中心に話し合いをし、具体的な行為について理解し一人ひとりの対応について拘束のない対応をしています。		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵をかけることを拘束ととらえ日中鍵をかけることなく自由に窓を開け①、2階の出入りも自由になっています。		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	個人個人のプライバシーを大切に職員同士のコミュニケーションをとりながら利用者の所在確認をしています。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	一人ひとりの能力に応じ自己管理していただいたり、職員管理にしています。使用に対してもその都度本人渡しにしたり職員の目の届く位置で使用していただいています。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	消防非難訓練、救急救命処置について講習会を開いています。一人ひとりのリスクについて話し合い事故防止について取り組んでいます。	○	一人ひとりのリスクは変動することを念頭に置き今後も取り組んでいく。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	救急救命講習会を開催し応急手当について学んでいます。		
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	利用者も一緒に緊急避難訓練を定期的に行っています緊急時に対して近所の方からの協力も頂いているがもう少し多くの方の協力が頂けるように働きかけたい。	○	火災地震時緊急避難に対し日ごろから訓練をし災害時利用者が戸惑うことなく非難できる法を身につけられるように今後取り組みを強化して行く。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	一人ひとりのリスクについて日ごろから家族に説明しています。リスクを踏まえたくえで抑圧感のない生活を送れるように努めています。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日10時にバイタルチェックしながら体調についてもチェックしています。職員間の情報の確認もしながら体調の変化をいち早く察知できるようにしています。早期発見、早期対応に努めています。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の説明書を一人づつファイルし、薬の内容がチェックできるようにしています。薬の変更、追加処方分量の調整があったときは特に申し送りを徹底し状態の変化がないか注意しています。		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	便秘の原因、及ぼす影響を理解し、一人ひとりの排便確認をしています。特に水分量には注意しています。	○	服薬による排便コントロールされている方の水分、食事内容、運動量を総合的に把握し服薬の減量に努めていきたい。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後の歯磨きの支援を能力に応じて行っています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p> <p>食事量、水分量のチェックを毎回行い情報の共有を行い個別に対応しています。</p>	○	10時、15時、夕食後お茶タイムを設けています。一度に水分の取れない方についてはペットボトルを用意いつでも飲めるようにしています。
78	<p>○感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p> <p>疥癬を持ち込まれた方、ノロウイルス疑いが発生し[自宅帰省後)対応策について勉強会を開き予防に努めています。</p>		
79	<p>○食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p> <p>新鮮で安全な食材を使用し手作りに努めています。台所調理器具は毎日消毒しています。食材の消費、賞味期限も冷蔵庫の前に記入しています。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり			
(1)居心地のよい環境づくり			
80	<p>○安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p> <p>玄関にスロープを設け安心して入れるようにしています。ベンチを置き軽通係の人が気軽に腰を下ろしていただけるようにしています。</p>	○	季節の草花を配し足り、菜園で野菜を作ったり親しみのある外回りづくりを続けていく。
81	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> <p>本人、家族と話し合い馴染みの家具等持ってきていた代理、一緒に買物に行き好みの物を使っていただいています。</p>		
82	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p> <p>本人、家族と話し合い馴染みの家具等持ってきていた代理、一緒に買物に行き好みの物を使っていただいています。</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人家族と話し合い馴染みの家具等持ってきていただき低増す。一緒に買物に行き好みの物を使っていたいています。持込の制限はしていません。居心地の良い空間造りをしています。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	清掃時、日中、換気に努めています。夜間時の換気として明け方ホール、ローカの換気をしています。温度調節については温度計や個々の体感温度に合わせてこまめに調節しています。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ローカ、トイレ、風呂場 随所に手すりをもうけています。特にトイレの自立のために手すりの工夫がされています。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	一人ひとりの観察をきめ細かにおこなうことで混乱、失敗の予測をし事前に予防できる支援に努めています。		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	外に菜園をつくりベンチを配したりして屋外で活動できるように配慮しています。	○	一人ひとり、花鉢、プランターに季節の花を植え楽しみのある活動をしていただけるよう取り組んでいく。

V. サービスの成果に関する項目

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者の <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらい <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらい <input type="radio"/> ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/> ①毎日ある <input type="radio"/> ②数日に1回程度ある <input type="radio"/> ③たまにある <input type="radio"/> ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族と <input type="radio"/> ②家族の2/3くらいと <input type="radio"/> ③家族の1/3くらいと <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/>	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)